

村上税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

『消費税・税の使い道について』

村上市立朝日中学校 3年
神田 瑞姫 さん

私たちの身近にある税として、消費税というものがあります。最近では、食べ物には八パーセント、食品以外では十パーセントと年々高くなってきています。ほとんどの人は、「税」というと一番最初に思いつくのは、「消費税」だと思います。ですが、日本には、五十種類以上もの税金があります。私はこのことを学校の租税教室で習いました。税の種類は数個しかないと思っていたけど、こんなに沢山あることを知り驚きました。税には、「国税」と「地方税」の2種類があります。国税には、所得税、法人税、消費税、たばこ税、揮発油税などがあります。県や市に納める地方税には、県民税、事業税、自動車税、不動産取得税、固定資産税、入湯税などがあります。正直、税金は高くてはらいたくないという方が多くいると思います。最初は私もそうでした。ですが、租税教室でもし、税金がなくなってしまうというビデオを見ました。例えば、子供は学校へ通いたくてもお金がたかく勉強でなくてはたらい、お年寄りもお金がもらえずはたらいに行きます。また、道路の整備もおろそかでとっても通りにくく、ゴミがちらか



っていてとても汚れてしまいます。そして、警察をよぶこと、消防車を呼ぶためなどにとっても高額なお金がかかります。このように、現在ではあたり前なことがあたり前ではなくなってしまい大変なことになってしまいます。このことを、全国民がくわしく知り、税金はいらぬという考えをもつ人たちが減っていけばいいなと思います。消費税の使い道は、少子高齢化が進んでも世代を問わず一人ひとりが安心して暮らせる社会を実現するために、消費税率の引き上げで得られた財源で、全世代を対象とする社会保障の充実をはかります。消費税率の引き上げをすることによって、社会保障の安定財源が確保されます。これによって将来世代への負担の先送りを減らし、社会保障制度の持続可能性を高めることにつながります。こういった税についてたくさん知識をえてたくさんの人たちに税についておしえられるようになりたいです。また、公共施設なども税でつくられているので今よりもっと大切に施設を使用し、使わせてもらっているという感謝の気持ちを持ちたいと思います。私たちの暮らしには税と深く関わりあっています。この先、日本での消費税はどこまで上がるか分かりませんが、税を納めるということは義務でもあり、責務でもあるので、私はこれからもきちん
と納めていきたいと思います。

